

Sustainable Report No.135

生物多様性 消費から共創へ転換できるか



Satisfactory

■ 受けている恩恵と保全の取り組みとの間に大きなギャップ

- 人間の生活は生態系サービスに支えられているにも関わらず、**日本の生物多様性は劣化し続けている。**
- 日本は2008年に生物多様性基本法を公布したが、期限・罰則はなく**企業による取組みの優先度は低い。**
- 2021年、SDGsの達成度・進捗状況に関する国際レポートにおいても、生物多様性に関わる項目の達成状況は「深刻な課題がある」とされている。

■ 生態系サービスの分類と事例

供給サービス 食料,薬,水など	調整サービス 気候調整,花粉媒介など
生息・生育地サービス 生息環境提供など	文化的サービス 余暇,科学的知識など

参照：環境省「生物多様性と生態系サービス」

フキノトウからがん増殖・転移を抑制する成分パタシンを発見



参照：岐阜大学「研究・採択情報2021年9月2日」

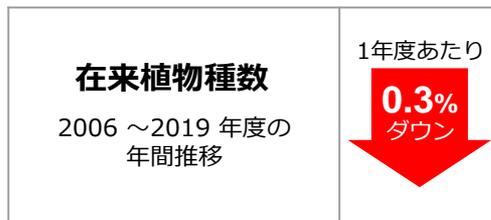
野生ミツバチの受粉による日本農業への貢献額3,330億円



参照：農業環境技術研究所「平成27年度主要成果」

■ 里地里山の生物多様性劣化

身近だった生物が減り続けている



▼個体数（2008年から2019年の年間推移）

スズメ	↓ -2.3%
キツネ	↓ -4.5%
ミヤマカラスアゲハ	↓ -21.9%

参照：環境省「生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2021」

■ 企業が力を入れるSDGs項目

生物多様性関連項目の順位は低い

1位	働きがいも経済成長も	32.0%
2位	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	22.3%
3位	つくる責任つかう責任	20.9%
4位	気候変動に具体的な対策を	19.5%
5位	パートナーシップで目標を達成しよう	15.9%
14位	陸の豊かさを守ろう	6.5%
15位	海の豊かさを守ろう	6.4%

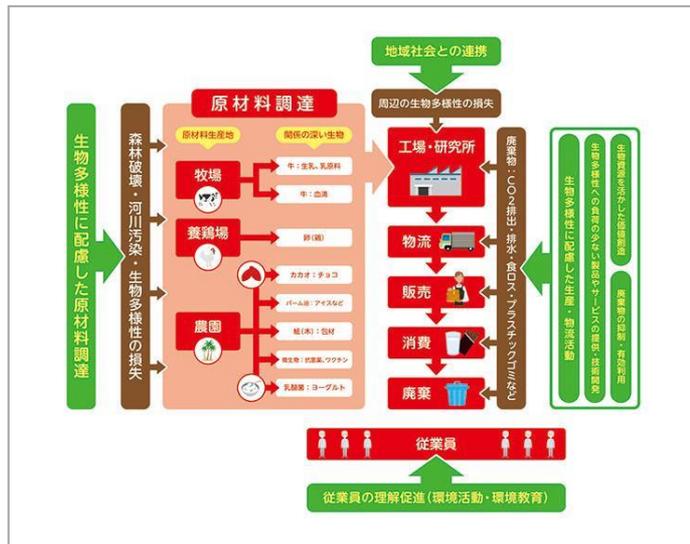
参照：日本経済団体連合会「生物多様性に関するアンケート<2019年度調査結果>」

企業による自主的な取組みが求められる

■ 日本企業が保全の新しい流れを創る『企業と生物多様性イニシアティブ』

- 多様な企業による**情報共有・共同研究・対話の促進**により、真に生物多様性保全に貢献することを目指して2008年に設立された。現在、正会員企業は31社、ネットワーク会員企業18社。
- **企業と生物多様性の関わりを可視化**する「企業と生物多様性の関係性マップ」を研究・開発している。
- 2021年の環境省評価によると、直接要因への方策は生物多様性の損失緩和に寄与するが、回復させた実績はない。**効果的介入が必須とされる間接要因**は、**企業活動と密接に関わる分野**である。

■ 関係性の事例（P6参照）



出典：明治ホールディングス株式会社「生物多様性」

■ 生物多様性の損失と回復の要因

損失の直接要因	第1の危機	開発など人間活動による
	第2の危機	自然に対する働きかけの縮小による
	第3の危機	人間により持ち込まれたものによる
	第4の危機	地球温暖化など地球環境の変化による

介入点として回復効果が見込める間接要因	産業構造の変化
	人々の自然に対する関心
	生産と消費

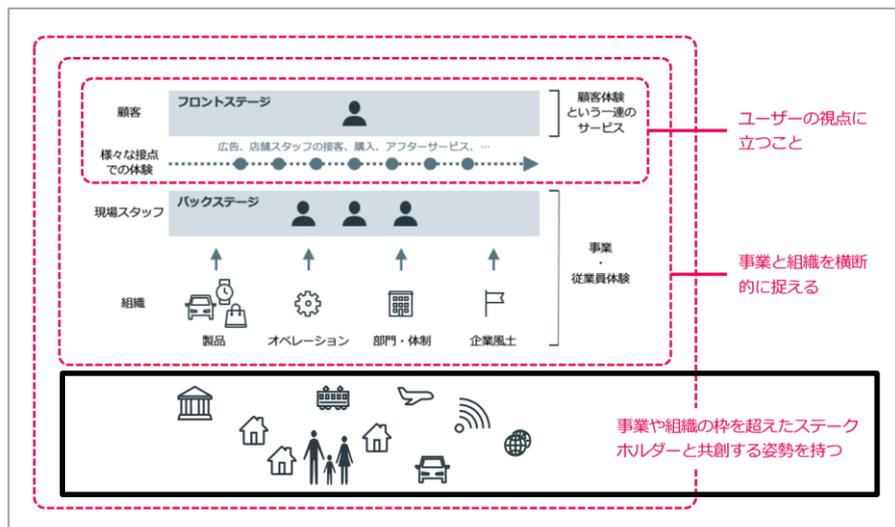
参照：環境省「生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2021」

生物多様性保全・回復を実現するための在り方とは

■ 企業活動の背景にある“既成枠”をいかに超えるか

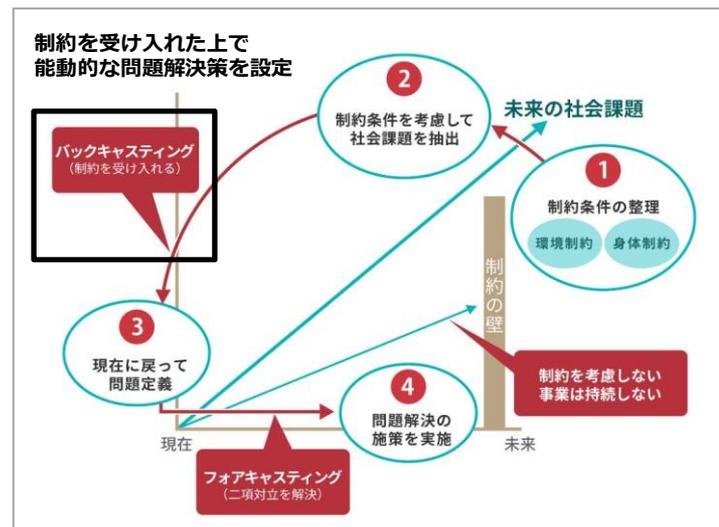
- 産業構造の変化、人々の自然に対する関心、生産と消費といった間接要因へのアプローチは根本的な**社会変革**を意味するが、これまで注目されてこなかった。
- **自然資本を活用した自立・分散型の自然共生社会**への移行の重要性を認知・共有し、実現を目指す。
- 生物種の「一人勝ち」を防ぐ仕組みが生態系バランスを保つ鍵であるとの研究結果がある。企業にも**空間的・時間的な繋がりを前提条件**に据えたビジョン構築および行動が望まれる。

■ 空間軸を広げる思考『サービスデザイン』



出典：経済産業省、「我が国におけるサービスデザインの効果的な導入及び実践の在り方に関する調査研究報告書」、筆者加筆

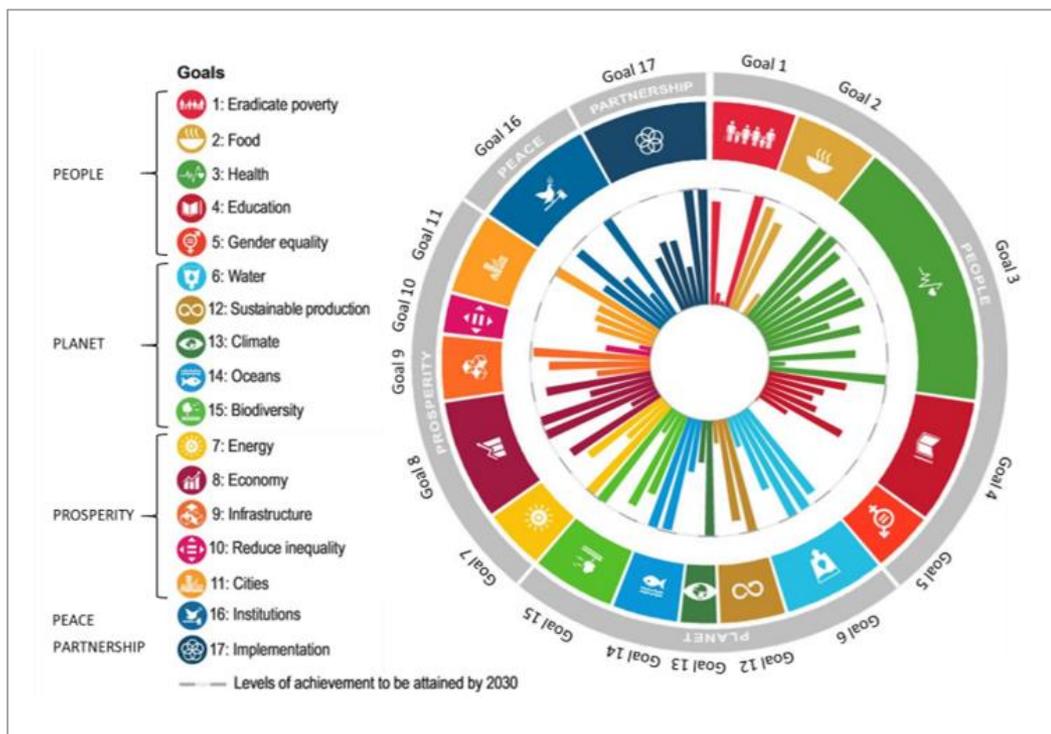
■ 時間軸を広げる思考『バックキャスト』



出典：日経クロストренд「バックキャスト思考とは SDGs時代に身に付けるべき必須スキル」、筆者加筆

生物多様性の共創実現に向かえるかが今問われている

■ SDGs達成までの距離



出典：OECD 「Measuring Distance to the SDG Targets」 2019年報告書

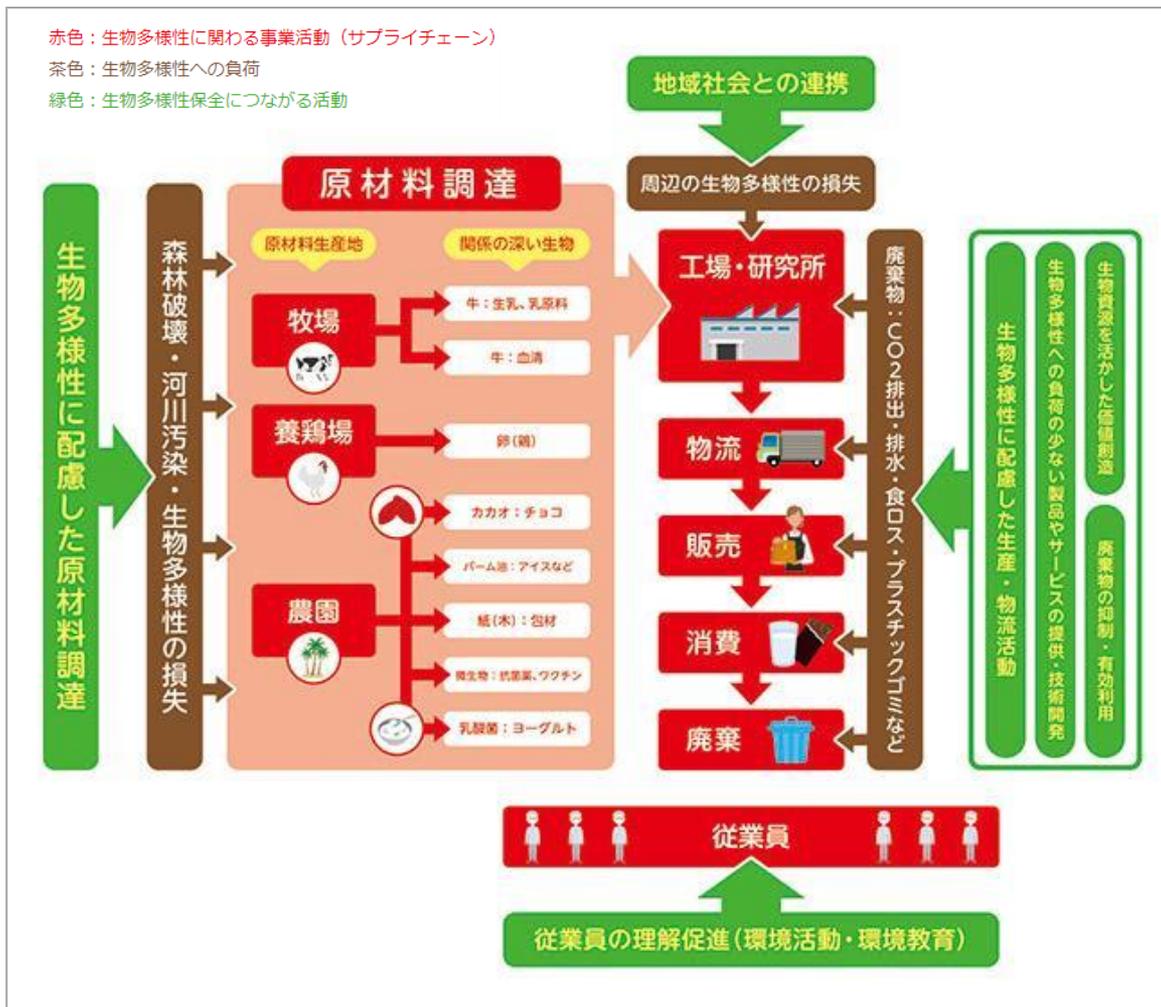
■ SDGs達成状況

■ 深刻な課題がある
 ■ 重要な課題がある
■ 課題がある
 ■ 達成済み
 ■ 情報なし



出典：日本経済団体連合会「報告書「SDGsへの取組みの測定・評価に関する現状と課題」2021年6月15日をもとに筆者にて配置編集

■ 事業活動と生物多様性との関係性を分析



■ 本業を通じた活動

アグロフォレストリーミルクチョコレートの取り組み

■ グループ所有地及び周辺での活動

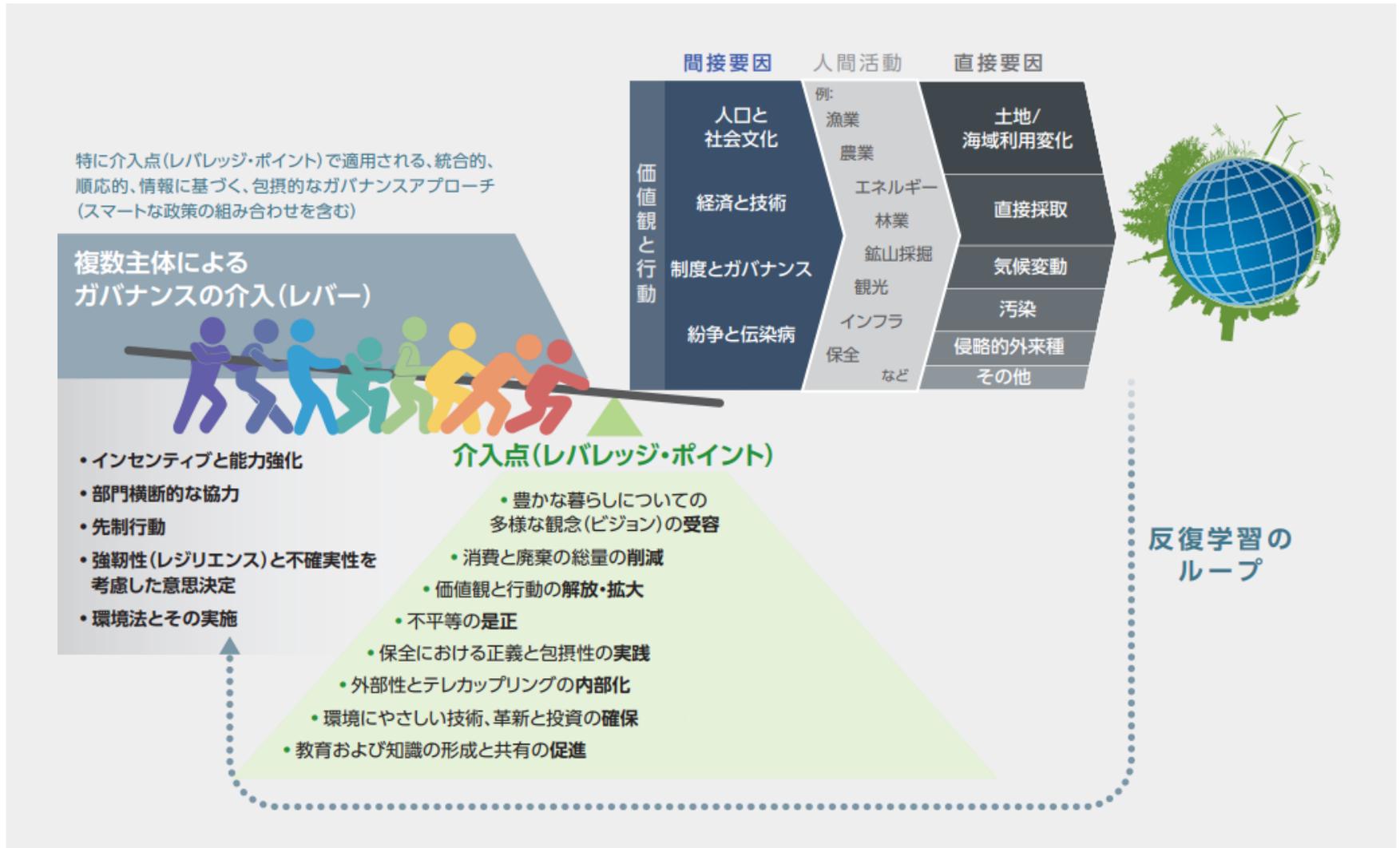
- 生物多様性評価の調査・公表
- 国内（47）海外（20）の生産拠点における保全活動
- 「明治グループ自然保全区 くまもともれびの森」での活動



■ 自治体やNPOとの協働による活動

明治自然環境保全区（根室市）：
 公益財団法人日本野鳥の会と連携して
 野鳥保護、生物多様性保全活動





© 2019、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム (IPBES)
 「IPBES 生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書 - 政策決定者向け要約」
 翻訳：環境省、公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)

■ 参照・引用資料

- 環境省「生物多様性と生態系サービス」 (<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/valuation/service.html>)
- 岐阜大学「研究・採択情報 日本原産フキノトウからがんの増殖・転移を強く抑制する物質を発見」2021年9月2日 (<https://www.gifu-u.ac.jp/news/research/2021/09/entry02-10993.html>)
- 農業環境技術研究所「平成27年度主要成果 日本の農業における送粉サービスの経済価値評価」 (https://www.naro.affrc.go.jp/archive/niaes/sinfo/result/result32/result32_70.html)
- e-Gov「生物多様性基本法」 (<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=420AC100000058>)
- 一般社団法人 日本経済団体連合会「生物多様性に関するアンケート<2019年度調査結果>」2020年2月 (<https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/014.html>)
- 環境省「生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2021」 (<https://www.env.go.jp/press/files/jp/115844.pdf>)
- 一般社団法人 日本経済団体連合会「報告書「SDGsへの取組みの測定・評価に関する現状と課題」2021年6月15日」 (https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/055_honbun.pdf)
- 一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ (<https://jbib.org/>)
- 明治ホールディングス、「生物多様性」 (<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/biodiversity/>)
- 経済産業省、「我が国におけるサービスデザインの効果的な導入及び実践の在り方に関する調査研究報告書」2020年3月 (<https://www.meti.go.jp/press/2020/04/20200420002/20200420002-3.pdf>)
- 石田秀輝・古川柳蔵監修『2030年のライフスタイルが教えてくれる「心豊かな」ビジネス 自然と未来に学ぶネイチャー・テクノロジー』日刊工業新聞社、2013年11月28日発行
- 日経クロストレンド「バックキャスト思考とは SDGs時代に身に付けるべき必須スキル」2021年11月26日 (<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00522/00003/>)
- 東北大学「プレスリリース・研究成果 複雑な生態系を維持するシンプルな仕組み」2018年5月24日 (<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2018/05/press20180524-seitaikei.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先： info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『**KIZUNA ESD**』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

— サステナブルレポートとは？ —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中